


【定例】

提出 2023年8月21日

山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山名：唐松岳 2,696m 長野県北安曇野郡白馬村、五竜岳 2,814m 富山県黒部市	
入山日：2023年8月19日(土)～20日(日) (1泊2日) 帰宅日：8月20日	
プラン担当者 正：鈴木 副：	山頂の絶景
参加者 L 報記：鈴木 (以下敬称略) 高山、久保、後藤、田島 島崎、小川、鎌田 男5名、女3名、計8名	
天候 8/19 曇 無風 8/20 晴れ 無風	
8/19 (土)	集合：①鈴木車で後藤、高山 AMO：30 (8/18の深夜) 場所：大宮駅パチンコ ことぶき大宮西口店 ②小川車で久保、田島、島崎 AMO：30 (8/18の深夜) 場所：4人で 協議し任意の場所 (鎌田は八方の湯駐車場にて自車で合流、5：00頃)
8/19 (土)	AMO：40 発 関越道東松山 IC 乗車 上信越道長野 IC 下車 4：30 八方の湯に 駐車 ゴンドラ乗り場まで徒歩、6：30 発、ゴンドラとリフト (2本) 乗り継ぎ 八方池山荘着-7：20 山行開始-8：30 八方池-10：00 丸山-11：00 唐松頂上 山荘-11：30 唐松岳-12：00-唐松頂上山荘-14：00 大黒岳- 15：30 五竜山荘 (泊) 行動：8h10m
8/20 (日)	04：30 起床身支度-4：45 朝食-5：20 山荘出発-6：30 五竜岳-7：40 五竜山荘-9：00 大遠見山-10：15 小遠見山-12：30 アルプス平着下山- (ゴンドラ) - 13：30 エスカルプラザ タクシーで八方駐車場に戻り往路と同じ IC ルートで帰宅 大宮 19：00 着 行動：7h10m
荒天候時のエスカープルート：8/19 唐松山荘に避難または引き返す。8/20 五竜山荘で待機。	
装備と食糧	共同装備：お助けロープ (鈴木)、ツェルト5個 (鈴木、小川、後藤、鎌田、久保、各1個) 共同食：無し 個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ストック、グローブ、飲料水、 帽子、サングラス、日焼け止め、虫除薬、予備衣類、ヘルメット (任意)、スパッツ マスク、消毒ジェル、アタックザック (任意)、笛、120cmスリング2本、 環カラビナ2個 個人食：8/19 朝食昼食、8/20 昼食 プラス 行動食

感	<p>天気予報がいま一つはっきりしない中、決行したが結果オーライで快適な山行となった。</p> <p>8/19 ゴンドラは混雑も無く予定より早く八方池山荘前を出発。ケルン、八方池、丸山を順調に通過し唐松頂上山荘に到着、唐松岳山頂での眺望はあまり良くなかったが雨に降られないことを良しとして五竜への稜線へ向かう。牛首の岩稜帯をスムーズに通過、疲労が蓄積していく中でのアップダウンを何とか乗り越え五竜山荘に到着した。曇りのご褒美に雷鳥一家も姿を見せ目を和ませた。五竜山荘の夕食は小屋定番のカレーだがサイドメニュー含め想像以上の美味しさで他の小屋食より数段レベルが上だと感じた。</p>
想	<p>8/20 快晴無風のなか、8:00のチェックアウトまでに戻ることを念頭に部屋に荷物をデポし五竜へ向かった。途中の岩稜帯も無事通過し、360°全く視野を遮るものがない山頂に到着した。後立は勿論のこと、槍穂、劔立から日本海までの眺望をメンバー全員で堪能した後は、登ってきた岩稜帯を滑落しないよう注意して下山した。遠見尾根はやはり暑く、特に水を浴びたような登りの人とは何人もすれ違った。ゴンドラで下山したあとは車回収のためドライバーのみ八方へタクシーで向かい、回収後皆で帰宅の途についた。北アルプスの入門コースを事故無く歩け、メンバーもそれなりの充実感を感じているものと推測している。</p>